

私立大学情報教育協会
平成30年度第1回(経営・経済・会計・心理・数学)分野連携グループ合同会議議事概要
(経営学・経済学・会計学)教育FD/ICT活用研究委員会
(心理学・数学)グループ運営委員会

I. 日時 : 平成30年7月25日(水) 17:00-19:00

II. 場所 : TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 6E会議室
東京都新宿区市谷八幡町8 (TEL: 03-5227-6911)

III. 出席者:	経営学教育FD/ICT活用研究委員会	佐々木委員長、宮林委員
	経済学教育FD/ICT活用研究委員会	林委員長、渡邊委員、山田委員、 児島委員(ネット参加)、中嶋委員(ネット参加)
	会計学教育FD/ICT活用研究委員会	岸田委員長、松本委員、阿部委員、河崎委員、 金川委員
	CCC心理学グループ運営委員会	木村委員、片受委員
	CCC数学グループ運営委員会	井川委員、山本委員、平野委員、 山崎委員(ネット参加)
	事務局	井端事務局長、森下、中村

IV. 昨年度の報告と今年度の検討

1. 事務局より昨年度の事業について事業報告書をもとに以下のように報告された。

平成29年度は、30分野を6グループに再編し教育改善の研究を行った。対話集会では、学力の3要素を高めるためにICTを活用した教育・学修方法の工夫・改善、授業科目の相互改善を促進するための仕組みとICTの活用、ICTによる外部評価モデルの必要性と仕組みを中心に意見交換した。

その結果、①個別の授業科目でICTを活用したアクティブ・ラーニングは進んでいることを確認したが、知識の活用や創造を目指す分野連携によるICTを活用した授業までは議論が進まなかった。②ICTを用いて授業内容を可視化し、教員相互で理解し合う必要性が確認され、教学マネジメントの課題が明らかになった。③学修成果を質保証する手段としての外部評価モデルについては、文系・理系・医療系では総論賛成の意見が多かった一方、被服・美術デザイン分野では創造性の評価に適さないとの意見も出された。

2. 平成30年度の対話集会について

昨年度の振り返りを踏まえ本年度は、①アクティブ・ラーニング(AL)の質向上に向けたICTの活用を中心に、思考力・判断力を高める課題探求型教育の研究 ②ネット上で学内および地域社会・企業などによる外部からの意見を組み入れたオープンな教育改善の仕組みについて実現の可能性の探求 ③学修成果の質保証に向けたビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策について認識の共有 ④多面的に考え、本質を見抜く能力を目指す授業モデルを研究するため、ICTを活用した分野横断的な授業モデルの研究成果を共有する中で、授業のイノベーションを実現していく上での課題、戦略について意見交換 としていた。

3. 対話集会の進め方

① 「話題提供」(1時間30分)と「意見交流」(2時間)の3時間30分を計画している。

② 「話題提供」は以下のような紹介が考えられる。件数は4件以内を計画している。

なお、質疑は話題提供後にまとめて15分程度設けるが、不足する場合は「意見交流」の最初に15分程度設ける。

* 知識・技能の活用力・応用力を促進するICT活用授業

* 問題発見・解決力を高めるICT活用授業

- * ICT を活用した事前・事後学修、反転授業、地域連携授業
- * モバイル・SNS を活用した双方向授業
- * e シラバス、e ポートフォリオなどを活用した授業の可視化、学修成果の可視化
- * 授業改善をオープンに議論するポータルサイトの活用など

③ 「意見交流」のテーマは大枠として、以下の中から 3 件程度を考えてはどうか。

- ※ 知識・技能の活用・応用を促進する ICT 活用授業の取り組みと課題
- ※ 問題発見・解決力を高める課題探求型 ICT 活用授業の取り組みと課題
- ※ 双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業における ICT 活用の取組みと課題
- ※ ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題
- ※ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策
- ※ 知識の創造を目指す分野横断型フォーラム授業の必要性和導入の課題

4. 今後の合同会議の検討スケジュール

(1) 第 1 回合同会議 (7 月)

- ① 本年度の対話集会の進め方について(事務局より説明)
- ② 話題提供候補の検討
(ICT を活用した分野別の実践事例又は教育改善提案の候補を選定)
- ③ 意見交流のテーマ検討
- ④ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
- ⑤ 対話集会の開催日時・場所の検討
- ⑥ 参加呼びかけの強化

(2) 第 2 回合同会議 (10 月予定)

- ① 開催要項の確定
 - ・ 話題提供者の確定
 - ・ 意見交流のテーマ確定
 - ・ 開催日時・場所の決定
 - ・ 事前アンケートの内容決定
- ② ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
 - ・ 各グループでの検討状況の共有
 - ・ 各分野における課題・対応策の整理
- ③ 運営シナリオの検討と役割分担
※委員主体の運営シナリオを全員で作成

(3) 対話集会 (12 月予定)

- ① アンケート結果を踏まえた担当者との打ち合わせによる進め方の確認
 - ・ 時間配分と運営シナリオにおける意見交流の着地目標を再確認
- ② 対話集会の参加についてアンケート回収

以上の説明の後、分野ごとに「話題提供候補」ほか対話集会の進め方について検討を行った。

5. 話題提供候補の検討

各分野から以下の説明があった。

(1) 経営学分野

話題提供案「演習における ICT を活用した実習授業」

- ・ 大教室の授業ではなく 22 名程度の演習授業であるが、学生が授業を設計し運営する方法でテーマごとにプレゼンと 20～30 分のビデオとグループワークを行い、教員は学生の立場で参加する。
- ・ 学生が学生を教えることで学びのモチベーションが向上する効果が見られた。

(2) 経済学委員会

話題提供案：「授業評価アンケートの Web 化と今後の課題」

- ・ 授業評価アンケート Web 化のやり方や公開の方法および、結果をどのように授業にフィードバックし教育改善に結びつけるかなど各分野共通の課題についての発表。

(3) 会計学分野

仮題1「ビジネスシュミレーションゲームによるプロジェクト演習教育」

- ・ 講義「プロジェクト演習」において学生に経営疑似体験を行わせることで会計分野だけでなく経営分野の基礎知識の理解を高める取り組み。

仮題2「経営計画の立案に企業の具体的事情をどう反映するか」

- ・ 会計学の知見を活かし企業における経営計画について考察させる演習教育。

話題提供内容を整理し提出いただくことになった。

(4) 心理学分野

心理学における公認心理士養成教育の課題についての考えを報告があり、更にICTとの組み合わせなど、引き続き提案型等を含めICTと繋げた内容を検討いただくことになった。

(5) 数学分野

仮題「ICTを活用した様々な分野の活用例を結びつけ活用する学びへの動機づけ」

- ・ 数学と他分野との分野連携教育についての考えを説明された

ICTを活用し、データを集積しDBを作りDBに集まったデータの見える化により、課題が鮮明になるなど提案型の話題提供として検討いただくこととなった。

話題提供内容については、分野ごとに話題提供シート書式にて提出をお願いした。

VI. 対話集会の開催日時、場所についてはほか

5分野の委員に諮った結果、

- ・ 対話集会は12月8日(土)14時～17時30分(委員事前打合せは13時)

会場については法政大学の借用について検討いただくことになった。

- ・ 次回(第2回合同会議)は10月14日(日)13:30～15:30私学会館を予定することにしたが、会場都合により引き続きTKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催することした。